水道事業ガイドライン業務指標

（令和４年度 ～ 令和６年度）

主要背景情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

業務指標

Ａ　安全で良質な水　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ｂ　安定した水の供給・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ｃ　健全な事業経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11

愛 知 県 稲 沢 市 水 道 事 業

主要背景情報

主要背景指標		計算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水道事業体のプロフィール	給水人口規模 （人）	—	133,738	133,133	132,389
	全職員数 （人）	—	27	27	26
システムのプロフィール	水源種別 （－）	—	深井戸、 浄水受水	深井戸、 浄水受水	深井戸、 浄水受水
	浄水受水率 （%）	浄水受水量/年間取水量	41.7	42.2	42.3
	給水人口1万人当たりの浄水場数 （箇所/10,000人）	浄水場数/（現在給水人口/10,000）	0.15	0.15	0.15
	給水人口1万人当たりの施設数 （箇所/10,000人）	（浄水場数＋送･配水施設）/（現在給水人口/10,000）	0.15	0.15	0.15
地域条件のプロフィール	有収水量密度 （1,000m^3/ha）	有収水量/計画給水区域面積	1.76	1.75	1.74
	水道メータ密度 （個/km）	水道メータ数/配水管延長	48.2	48.5	48.7
	単位管延長 （m/人）	導送配水管延長/現在給水人口	7.62	7.69	7.75

「稲沢市水道事業ガイドライン」業務指標

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
A 安全で良質な水	運営管理	1 水質管理	A101	平均残留塩素濃度 (mg/L)	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す指標です。残留塩素濃度は0.1mg/L以上を保つ必要があります。 残留塩素濃度合計/残留塩素濃度測定回数	0.22	0.23	0.24	—
			A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率 (%)	給水栓でのカビ臭物質濃度最大値の水質基準値に対する割合を表す指標です。指標値下段は値算出の対象物質名です。 (最大カビ臭物質濃度/水質基準値)×100	10.0 ジェオスミン	20.0 ジェオスミン	20.0 ジェオスミン	↓
			A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率 (%)	総トリハロメタンの多少による水道水の安全性を表す指標です。 max(Xi)＝〔(Σ給水栓の総トリハロメタン濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xi＝定期検査時の総トリハロメタン濃度水質基準比率 i:定期検査の実施回	30.0	29.0	31.0	↓
			A104	有機物(TOC)濃度水質基準比率 (%)	有機物の多少による水道水の安全性を表す指標です。 max(Xi)＝〔(Σ給水栓の有機物(TOC)濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xi＝定期検査時の有機物(TOC)濃度水質基準比率 i:定期検査の実施回	23.3	26.7	23.3	↓
			A105	重金属濃度水質基準比率 (%)	カドミウム及びその化合物、水銀及びその化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、ヒ素及びその化合物、六価クロム及びその化合物の6種類の物質の多少による水道水の安全性を表す指標です。指標値下段は値算出の対象物質名です。 max(Xhi)＝〔(Σ給水栓の当該重金属濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xhi＝定期検査時の当該重金属濃度水質基準比率 h:重金属の種類 i:定期検査の実施回	40.0 ヒ素及びその化合物	40.0 ヒ素及びその化合物	30.0 ヒ素及びその化合物	↓
			A106	無機物質濃度水質基準比率 (%)	アルミニウム及びその化合物、塩化物イオン、カルシウム・マグネシウム等、鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物、ナトリウム及びその化合物の6種類の物質の多少による水道水の味、色などの性状を表す指標です。指標値下段は値算出の対象物質名です。 max(Xhi)＝〔(Σ給水栓の当該無機物質濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xhi＝定期検査時の当該無機物濃度水質基準比率 h:無機物質の種類 i:定期検査の実施回	15.0 アルミニウム及びその化合物	15.0 アルミニウム及びその化合物	15.0 アルミニウム及びその化合物	↓
			A107	有機化学物質濃度水質基準比率 (%)	有機化学物質の多少による原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す指標です。指標値下段は値算出の対象物質名です。 max(Xhi)＝〔(Σ給水栓の当該有機化学物質濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xhi＝定期検査時の当該有機化学物質濃度水質基準比率 h:有機化学物質の種類 i:定期検査の実施回	0.0 —	0.0 —	0.0 —	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
A 安全で良質な水	運営管理	1 水質管理	A108	消毒副生成物濃度 水質基準比率 (%)	消毒副生成物の多少による原水の汚染状況及び水道水の安全性を表す指標です。指標値下段は値算出の対象物質名です。	26.7	33.3	40.0	↓
					max(Xhi)＝〔(Σ給水栓の当該消毒副生成物濃度/給水栓数)/水質基準値〕×100 Xhi＝定期検査時の当該消毒副生成物濃度水質基準比率 h:消毒副生成物の種類 i:定期検査の実施回	トリクロロ酢酸	トリクロロ酢酸	トリクロロ酢酸	
			A109	農薬濃度 水質管理目標比 (—)	農薬の多少による水道水の安全性を表す指標です。	0.000	0.000	0.000	↓
					max Σ(Xij/GVj) Xij:各定期検査時の各農薬濃度 GVj:各農薬の目標値 i:定期検査の実施回 j:農薬の種類	—	—	—	
		2 施設管理	A201	原水水質監視度 (項目)	水道事業体が原水水質の項目をどの程度検査しているかを示す指標です。	69	71	71	—
					原水水質監視項目数				
			A202	給水栓水質検査 (毎日)箇所密度 (箇所/100km^2)	給水栓における毎日水質検査に関して、給水面積100km^{2}当たりの給水栓水質の監視箇所数を示すもので、水道水の水質管理水準を表す指標です。	8.8	7.6	7.6	↑
					給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/(現在給水面積/100)				
			A203	配水池清掃実施率 (%)	配水池容量に対する5年間に清掃した配水池容量の割合を示すもので、安全で良質な水への取組み度合いを表す指標です。	81.3	81.3	0.0	↑
					(5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量)×100				
			A204	直結給水率 (%)	給水件数に対する直結給水件数の割合を示すもので、受水槽管理の不備に伴う衛生問題などに対する水道事業体としての取組み度合いを表す指標です。	89.2	89.2	89.2	↑
					(直結給水件数/給水件数)×100				
			A205	貯水槽水道指導率 (%)	貯水槽水道数に対する指導を実施した件数の割合を示すもので、水道事業としての貯水槽水道への関与度を表す指標です。	0.0	15.6	0.0	↑
					(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数)×100				
		3 事故災害対策	A301	水源の水質事故件数 (件)	水源の水質事故件数を示すもので、水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを表す指標です。	0	0	0	↓
					年間水源水質事故件数				
			A302	粉末活性炭処理比率 (%)	年間浄水処理量に対する粉末活性炭年間処理水量の割合を示すもので、原水の汚染状況、水質事故などに対する対応を表す指標です。	0.0	0.0	0.0	↓
					(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量)×100				

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
A 安全で良質な水	施設整備	4 施設更新	A401	鉛製給水管率（%）	給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合を示すもので、鉛製給水管の解消に向けた取組みの進捗度合いを表す指標です。 （鉛製給水管使用件数/給水件数）×100	0.0	0.0	0.0	↓

※指標値の望ましい方向は、業務指標の値が高い方が望ましい場合を「↑」、低い方が望ましい場合を「↓」、いずれとも示せない場合を「－」で表示しています。

「稲沢市水道事業ガイドライン」業務指標

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	運営管理	1 施設管理	B101	自己保有水源率 (%)	水道事業体が保有する水源のうち、その水道事業体が単独で管理し、自由に取水できる水源の割合を示すもので、水源運用の自由度を表す指標です。 (自己保有水源水量/全水源水量)×100	48.5	48.0	47.9	—
			B102	取水量1m^{3}当たり水源保全投資額 (円/m^3)	取水量1m^{3}当たりの水質保全に対する投資費用を示すもので、水道事業体の水質保全への取組み状況を表す指標です。 水源保全に投資した費用/年間取水量	0.0	0.0	0.0	↑
			B103	地下水率 (%)	水源利用水量に対する地下水用水量の割合を示すもので、水道事業体の水源特性を表す指標です。 (地下水揚水量/年間取水量)×100	100.0	100.0	100.0	—
			B104	施設利用率 (%)	施設能力に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標です。 (一日平均配水量/施設能力)×100	57.9	57.4	57.3	↑
			B105	最大稼働率 (%)	施設能力に対する一日最大配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標です。 (一日最大配水量/施設能力)×100	65.1	61.8	61.4	↑
			B106	負荷率 (%)	一日最大配水量に対する一日平均配水量の割合を示すもので、水道施設の効率性を表す指標です。 (一日平均配水量/一日最大配水量)×100	89.0	92.9	93.4	↑
			B107	配水管延長密度 (km/km^2)	給水面積当たりの配水管延長を示すもので、お客様からの給水申込みに対する物理的利便性の度合いを表すものです。 配水管延長/現在給水面積	12.9	12.9	12.9	↑
			B108	管路点検率 (%)	管路延長に対する1年間で点検した管路延長の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す指標です。 (点検した管路延長/管路延長)×100	23.7	23.7	31.3	↑
			B109	バルブ点検率 (%)	バルブ設置数に対する1年間に点検したバルブ数の割合を示すもので、管路の健全性確保に対する執行度合いを表す指標です。 (点検したバルブ数/バルブ設置数)×100	26.4	18.6	28.5	↑
			B110	漏水率 (%)	配水量に対する漏水量の割合を示しており、事業効率を表す指標です。 (年間漏水量/年間配水量)×100	4.8	4.9	4.6	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	運営管理	1 施設管理	B111	有効率（%）	年間配水量に対する年間有効水量の割合を示すもので、水道事業の経営効率性を表す指標です。 （年間有効水量/年間配水量）×100	95.1	95.1	95.4	↑
			B112	有収率（%）	年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標です。 （年間有収水量/年間配水量）×100	92.9	92.8	92.7	↑
			B113	配水池貯留能力（日）	一日平均配水量に対する配水池有効容量の割合を示すもので、給水に対する安定性を表す指標です。 配水池有効容量/一日平均配水量	0.75	0.75	0.76	↑
			B114	給水人口一人当たり配水量（L/日・人）	給水人口一人当たりの配水量を示すもので、家庭用以外の水利用の多少を表す指標です。 （一日平均配水量/現在給水人口）×1,000	307	306	307	—
			B115	給水制限日数（日）	1年間に給水制限を実施した日数を示すもので、給水サービスの安定性を表す指標です。 年間給水制限日数	0	0	0	↓
			B116	給水普及率（%）	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合を示すもので、水道事業のサービス享受の概況及び地域性を表す指標です。 （現在給水人口/給水区域内人口）×100	99.9	99.9	99.9	↑
			B117	設備点検実施率（%）	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す指標です。 （点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数）×100	91.9	91.9	91.9	↑
		2 事故災害対策	B201	浄水場事故割合（件/10年・箇所）	直近10年間に浄水場が事故で停止した件数を一浄水場当たりの割合として示すものであり、施設の信頼性を表す指標です。 10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数	0.00	0.00	0.00	↓
			B202	事故時断水人口率（%）	浄水場などの事故時において給水できない人口の割合を示しており、水道事業体のシステムの融通性、余裕度によるサービスの安定性を表す指標です。 （事故時断水人口/現在給水人口）×100	84.7	84.8	85.0	↓
			B203	給水人口一人当たり貯留飲料水量（L/人）	災害時に確保されている給水人口一人当たりの飲料水量を示す指標であり、水道事業体の災害対応度を表す指標です。 〔(配水池有効容量×1/2＋緊急貯水槽容量)×1,000〕/現在給水人口	118	119	119	↑

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	運営管理	2 事故災害対策	B204	管路の事故割合（件/100km）	1年間における導・送・配水管の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、管路の健全性を表す指標です。 管路の事故件数/(管路延長/100)	10.9	6.0	9.9	↓
			B205	基幹管路の事故割合（件/100km）	1年間における基幹管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、基幹管路の健全性を表す指標です。 基幹管路の事故件数/(基幹管路延長/100)	1.8	0.0	0.0	↓
			B206	鉄製管路の事故割合（件/100km）	1年間における鉄製導・送・配水管路の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、鉄製管路の健全性を表す指標です。 鉄製管路の事故件数/(鉄製管路延長/100)	13.9	12.1	12.1	↓
			B207	非鉄製管路の事故割合（件/100km）	1年間における非鉄製導・送・配水管の事故件数を延長100km当たりの件数に換算したものであり、非鉄製管路の健全性を表す指標です。 非鉄製管路の事故件数/(非鉄製管路延長/100)	32.6	26.9	37.7	↓
			B208	給水管の事故割合（件/1,000件）	給水件数1,000件当たりの給水管の事故件数を示しており、配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を表す指標です。 給水管の事故件数/(給水件数/1,000)	3.1	2.6	3.1	↓
			B209	給水人口一人当たり平均断水・濁水時間（時間）	現在給水人口に対する断水・濁水時間を示すものであり、給水の安定度を表す指標です。 〔Σ(断水・濁水時間×断水・濁水区域給水人口)〕/現在給水人口	0.17	0.11	0.14	↓
			B210	災害対策訓練実施回数（回/年）	1年間に災害対策訓練を実施した回数を示すもので、自然災害に対する危機対応性を表す指標です。 年間の災害対策訓練実施回数	0	2	2	↑
			B211	消火栓設置密度（基/km）	配水管延長に対する消火栓の設置密度を示すもので、危機対応能力の度合いを表す指標です。 消火栓数/配水管延長	1.6	1.7	1.7	↑
		3 環境対策	B301	配水量1m^{3}当たり電力消費量（kWh/m^3）	配水量1m^{3}当たりの電力使用量を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す指標です。 電力使用量の合計/年間配水量	0.24	0.24	0.25	↓
			B302	配水量1m^{3}当たり消費エネルギー（MJ/m^3）	配水量1m^{3}当たりの消費エネルギー量の割合を示すもので、省エネルギー対策への取組み度合いを表す指標です。 エネルギー消費量/年間配水量	2.36	2.37	2.38	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	運営管理	3 環境対策	B303	配水量1m^3当たり二酸化炭素(CO_2)排出量($g \cdot CO_2/m^3$)	年間配水量に対する総二酸化炭素排出量であり、環境保全への取組み度合いを表す指標です。 (二酸化炭素(CO_2)排出量/年間配水量)×10^6	116	117	117	↓
			B304	再生可能エネルギー利用率(%)	全施設の電力使用量に対する再生可能エネルギーの利用の割合を示すもので、環境負荷低減に対する取組み度合いを表す指標です。 (再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量)×100	3.2	3.3	3.2	↑
			B305	浄水発生土の有効利用率(%)	浄水処理過程における発生土の有効利用度を示し、環境保全への取り組み状況を表す指標です。 (有効利用土量/浄水発生土量)×100	—	—	—	↑
			B306	建設副産物のリサイクル率(%)	水道事業における工事などで発生する建設副産物のうち、リサイクルされた建設副産物の割合を示すもので、環境保全への取組み度合いを表す指標です。 (リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量)×100	96.9	98.1	99.4	↑
	施設整備	4 施設管理	B401	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率(%)	全管路延長に対するダクタイル鋳鉄管・鋼管の割合を示すもので、管路の母材強度に視点を当てた指標です。 〔(ダクタイル鋳鉄管延長＋鋼管延長)/管路延長〕×100	28.9	29.1	29.0	↑
			B402	管路の新設率(%)	管路延長に対する1年間に新設した管路延長の割合を示すもので、管路整備度合いを表す指標です。 (新設管路延長/管路延長)×100	0.17	0.14	0.20	—
		5 施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率(%)	全浄水施設能力に対する法定耐用年数を超過した浄水施設の浄水能力の割合を示すもので、施設の老朽化度及び更新の取組み状況を表す指標です。 (法定耐用年数を超えている浄水施設能力/全浄水施設能力)×100	0.0	0.0	0.0	↓
			B502	法定耐用年数超過設備率(%)	水道施設に設置されている機械・電気・計装設備の機器合計数に対する法定耐用年数を超えている機器数の割合を示すものであり、機器の老朽度、更新の取組み状況を表す指標です。 (法定耐用年数を超えている機械・電気・計装設備などの合計数/機械・電気・計装設備などの合計数)×100	28.6	30.9	30.3	↓
			B503	法定耐用年数超過管路率(%)	管路の延長に対する法定耐用年数を超えている管路の割合を示すものであり、管路の老朽度、更新の取組み状況を表す指標です。 (法定耐用年数を超えている管路延長/管路延長)×100	31.1	32.5	32.8	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	施設整備	5 施設更新	B504	管路の更新率（%）	管路の延長に対する更新された管路延長の割合を示すもので、信頼性確保のための管路更新の執行度合いを表す指標です。 （更新された管路延長/管路延長）×100	1.41	1.51	0.93	↑
			B505	管路の更生率（%）	管路の延長に対する更正を行った管路の割合を示すもので、信頼性確保のための管路維持の執行度合いを表す指標です。 （更生された管路延長/管路延長）×100	0.000	0.000	0.000	—
		6 事故災害対策	B601	系統間の原水融通率（%）	全浄水施設能力に対する他系統からの融通可能な原水水量の割合を示すものであり、水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を表す指標です。 （原水融通能力/全浄水施設能力）×100	0.0	0.0	0.0	↑
			B602	浄水施設の耐震化率（%）	全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標です。 （耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力）×100	100.0	100.0	100.0	↑
			B602-2	浄水施設の主要構造物耐震化率（%）	浄水施設のうち主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602(浄水施設の耐震化率)の進捗を表す指標です。 〔(沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力+ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力)/全浄水施設能力〕×100	100.0	100.0	100.0	↑
			B603	ポンプ所の耐震化率（%）	耐震化対象ポンプ所能力に対する耐震対策が施されたポンプ所能力の割合を示すもので、地震災害に対するポンプ施設の信頼性・安全性を表す指標です。 （耐震対策の施されたポンプ所能力/耐震化対象ポンプ所能力）×100	89.2	89.2	89.2	↑
			B604	配水池の耐震化率（%）	全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標です。 （耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量）×100	84.5	84.5	100.0	↑
			B605	管路の耐震管率（%）	導・送・配水管（配水支管を含む）全ての管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する水道管路網の安全性、信頼性を表す指標です。 （耐震管延長/管路延長）×100	10.9	11.4	11.5	↑
			B606	基幹管路の耐震管率（%）	基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すものであり、地震災害に対する基幹管路の安全性、信頼性を表す指標です。 （基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長）×100	70.3	71.3	72.5	↑
			B606-2	基幹管路の耐震適合率（%）	基幹管路の延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すものであり、B606（基幹管路の耐震管率）を補足する指標です。 （基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長/基幹管路延長）×100	70.3	71.3	72.5	↑

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
B 安定した水の供給	施設整備	6 事故災害対策	B607	重要給水施設配水管路の耐震管率（%）	重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震管延長の割合を示すもので、大規模な地震災害に対する重要給水施設配水管路の安全性、信頼性を表す指標です。 （重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長）×100	73.1	73.6	74.2	↑
			B607-2	重要給水施設配水管路の耐震適合率（%）	重要給水施設への配水管の総延長に対する耐震適合性のある管路延長の割合を示すもので、B607（重要給水施設配水管路の耐震化率）を補足する指標です。 （重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長）×100	73.1	73.6	74.2	↑
			B608	停電時配水量確保率（%）	一日平均配水量に対する全施設が停電した場合に確保できる配水能力の割合を示すものであり、災害時・広域停電時における危機対応性を表す指標です。 （全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量）×100	174.4	175.9	176.2	↑
			B609	薬品備蓄日数（日）	浄水場で使う薬品の平均貯蔵量に対する一日平均使用量の割合を示すもので、災害に対する危機対応力を表す指標です。稲沢市は塩素剤のみが対象です。 平均凝集剤又は塩素剤貯蔵量/凝集剤又は塩素剤一日平均使用量	21.4	21.4	25.3	—
			B610	燃料備蓄日数（日）	停電時においても自家発電設備で浄水場の稼働を継続できる日数を示すもので、災害時の対応性を表す業務指標です。 平均燃料貯蔵量/一日燃料使用量	2.7	2.7	2.7	↑
			B611	応急給水施設密度（箇所/100km^2）	100km^{2}当たりの応急給水施設数を示すもので、災害時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す指標です。 応急給水施設数/（現在給水面積/100）	10.1	10.1	10.1	↑
			B612	給水車保有度（台/1,000人）	給水人口1,000人当たりの給水車保有台数を示すものであり、事故・災害などの緊急時における応急給水活動の対応性を表す指標です。 給水車数/（現在給水人口/1,000）	0.0	0.0	0.0	↑
			B613	車載用の給水タンク保有度（m^3/1,000人）	給水人口1,000人当たりの車載用給水タンク容量を示すものであり、主に大地震などが発生した場合における応急給水活動の対応性を表す指標です。 車載用給水タンクの容量/（現在給水人口/1,000）	0.022	0.023	0.023	↑

※指標値の望ましい方向は、業務指標の値が高い方が望ましい場合を「↑」、低い方が望ましい場合を「↓」、いずれとも示せない場合を「－」で表示しています。

「稲沢市水道事業ガイドライン」業務指標

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
C 健全な事業経営	財務	1 健全経営	C101	営業収支比率（%）	営業収益の営業費用に対する割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標です。 〔(営業収益－受託工事収益)/(営業費用－受託工事費)〕×100	94.0	99.1	100.5	↑
			C102	経常収支比率（%）	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標です。 〔(営業収益＋営業外収益)/(営業費用＋営業外費用)〕×100	117.7	113.0	109.2	↑
			C103	総収支比率（%）	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示すもので、水道事業の収益性を表す指標です。 (総収益/総費用)×100	117.9	112.9	110.0	↑
			C104	累積欠損金比率（%）	受託工事収益を除く営業収益に対する累積欠損金の割合を示すもので、水道事業経営の健全性を表す指標です。 〔累積欠損金/(営業収益－受託工事収益)〕×100	0.0	0.0	0.0	↓
			C105	繰入金比率（収益的収入分）（%）	収益的収入に対する損益勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す指標です。 (損益勘定繰入金/収益的収入)×100	0.1	0.1	0.1	—
			C106	繰入金比率（資本的収入分）（%）	資本的収入に対する資本勘定繰入金の依存度を示しており、事業の経営状況を表す指標です。 (資本勘定繰入金/資本的収入計)×100	1.0	0.7	0.7	—
			C107	職員一人当たり給水収益（千円/人）	損益勘定職員一人当たりの給水収益を示すもので、水道事業における生産性について給水収益を基準として把握するための指標です。 給水収益/損益勘定所属職員数	110,128	115,092	127,145	↑
			C108	給水収益に対する職員給与費の割合（%）	給水収益に対する職員給与費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標です。 (職員給与費/給水収益)×100	7.0	6.6	6.1	↓
			C109	給水収益に対する企業債利息の割合（%）	給水収益に対する企業債利息の割合を示すもので、水道事業の効率性及び財政安全性を分析する指標です。 (企業債利息/給水収益)×100	2.2	2.1	2.1	↓
			C110	給水収益に対する減価償却費の割合（%）	給水収益に対する減価償却費の割合を示すもので、水道事業の収益性を表す指標です。 (減価償却費/給水収益)×100	51.3	48.7	48.4	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
C 健全な事業経営	財務	1 健全経営	C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合（%）	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合を示すもので、建設改良のための企業債償還元金が経営に及ぼす影響を表す指標です。 （建設改良のための企業債償還元金/給水収益）×100	10.6	8.2	7.0	↓
			C112	給水収益に対する企業債残高の割合（%）	給水収益に対する企業債残高の割合を示すもので、企業債残高が規模及び経営に及ぼす影響を表す指標です。 （企業債残高/給水収益）×100	196.6	197.4	205.8	↓
			C113	料金回収率（%）	給水原価に対する供給単価の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標です。 （供給単価/給水原価）×100	101.5	106.7	107.6	↑
			C114	供給単価（円/m^3）	有収水量1m^3当たりの給水収益の割合を示すもので、水道事業でどれだけの収益を得ているかを表す指標です。 給水収益/年間総有収水量	142.2	158.0	166.1	—
			C115	給水原価（円/m^3）	有収水量1m^3当たりの経常費用（受託工事費等を除く）の割合を示すもので、水道事業でどれだけの費用がかかっているかを表す指標です。 〔経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費＋長期前受金戻入）〕/年間有収水量	140.0	148.1	154.4	↓
			C116	1か月10m^3当たり家庭用料金（円）	1か月に10m^3使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表す指標です。 1か月10m^3当たり家庭用料金（料金表による）	1,430	1,430	1,430	↓
			C117	1か月20m^3当たり家庭用料金（円）	1か月に20m^3使用した場合における水道料金を示し、契約者の経済的利便性を表す指標です。 1か月20m^3当たり家庭用料金（料金表による）	2,530	2,530	2,530	↓
			C118	流動比率（%）	流動負債に対する流動資産の割合を示すものであり、事業の財務安全性を表す指標です。 （流動資産/流動負債）×100	257.0	300.0	312.5	↑
			C119	自己資本構成比率（%）	総資本（負債及び資本）に対する自己資本の割合を示しており、財務の健全性を表す指標です。 〔（資本金＋剰余金＋評価差額など＋繰延収益）/負債・資本合計〕×100	82.8	82.2	81.0	↑
			C120	固定比率（%）	自己資本に対する固定資産の割合を示すものであり、財務の安定性を表す指標です。 〔固定資産/（資本金＋剰余金＋評価差額など＋繰延収益）〕×100	110.2	111.0	110.6	↓

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
C 健全な事業経営	財務	1 健全経営	C121	企業債償還元金対減価償却費比率（%）	当年度減価償却費に対する企業債償還元金の割合を示すもので、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標です。 （建設改良のための企業債償還元金/当年度減価償却費）×100	20.7	16.9	14.6	↓
			C122	固定資産回転率（回）	固定資産（年度平均）に対する営業収益の割合を示すものであり、1年間に固定資産額の何倍の営業収益があったかを示す指標です。 （営業収益－受託工事収益）/〔（期首固定資産＋期末固定資産）/2〕	0.08	0.08	0.09	↑
			C123	固定資産使用効率（m^3/万円）	有形固定資産に対する年間総配水量の割合を示すもので、施設の使用効率を表す指標です。 年間配水量/有形固定資産	5.7	5.5	5.4	↑
			C124	職員一人当たり有収水量（m^3/人）	1年間における損益勘定職員一人当たりの有収水量を示すもので、水道サービスの効率性を表す指標です。 年間総有収水量/損益勘定所属職員数	775,000	728,000	766,000	↑
			C125	料金請求誤り割合（件/1,000件）	料金請求総件数に対する誤請求の件数の割合を示すもので、料金関連業務の適正度を表す指標です。 誤料金請求件数/（料金請求件数/1,000）	0.02	0.04	0.03	↓
			C126	料金収納率（%）	1年間の水道料金総調定額に対して、決算確定時点において納入されている収入額の割合を示すもので、水道事業の経営状況の健全性を表す指標です。 （料金納入額/調定額）×100	99.6	99.7	99.6	↑
			C127	給水停止割合（件/1,000件）	給水件数に対する給水停止件数の割合を示すもので、水道料金の未納状況の度合いを見る指標です。 給水停止件数/（給水件数/1,000）	1.9	2.6	2.2	↓
	組織・人材	2 人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度（件/人）	職員が取得している水道技術に関する資格数の全職員に対する割合を示すものです。 職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数	2.89	2.19	1.96	↑
			C202	外部研修時間（時間/人）	職員一人当たりの外部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標です。 （職員が外部研修を受けた時間×受講人数）/全職員数	5.1	8.7	7.0	↑
			C203	内部研修時間（時間/人）	職員一人当たりの内部研修の受講時間を表すもので、技術継承及び技術向上への取組状況を表す指標です。 （職員が内部研修を受けた時間×受講人数）/全職員数	7.6	7.6	7.4	↑

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
C 健全な事業経営	組織・人材	2 人材育成	C204	技術職員率（%）	全職員数に対する技術職員の割合を示すもので、技術面での維持管理体制を表す指標です。 （技術職員数/全職員数）×100	77.8	77.8	76.9	—
			C205	水道業務平均経験年数（年/人）	全職員の水道業務経験年数を表すもので、人的資源としての専門技術の蓄積度合いを表す指標です。 職員の水道業務経験年数/全職員数	12.0	11.1	10.4	—
			C206	国際協力派遣者数（人・日）	国際協力に派遣された人数とその滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す指標です。 Σ（国際協力派遣者数×滞在日数）	0	0	0	↑
			C207	国際協力受入者数（人・日）	受け入れた海外の水道関係者の人数と滞在日数の積で、国際協力への関与の度合いを表す指標です。 Σ（国際協力受入者数×滞在日数）	0	0	0	↑
		3 業務委託	C301	検針委託率（%）	水道メーター設置数に対する検針委託している水道メーター数の割合を示すもので、業務委託の度合いを表す指標です。 （委託した水道メーター数/水道メーター設置数）×100	100.0	100.0	100.0	—
			C302	浄水場第三者委託率（%）	全浄水場の浄水施設能力のうち、第三者委託している浄水場の浄水施設能力の割合を示すもので、第三者委託の導入状況を表す指標です。 （第三者委託した浄水場の浄水施設能力/全浄水施設能力）×100	0.0	0.0	0.0	—
	お客さまとのコミュニケーション	4 情報提供	C401	広報誌による情報の提供度（部/件）	給水件数に対する広報誌などの発行部数の占める割合を示すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標です。 広報誌などの配布部数/給水件数	2.3	2.3	2.3	↑
			C402	インターネットによる情報の提供度（回）	インターネット（ウェブページ）による水道事業の情報発信回数を表すもので、お客様への事業内容の公開度合いを表す指標です。 ウェブページへの掲載回数	38	39	28	↑
			C403	水道施設見学者割合（人/1,000人）	給水人口に対する水道施設見学者の割合を示すもので、お客様との双方向コミュニケーションの進捗度合いを表す指標です。 見学者数/（現在給水人口/1,000）	1.1	0.2	0.4	↑
		5 意見収集	C501	モニタ割合（人/1,000人）	現在給水人口に占めるモニタ人数の割合を表すもので、お客様との双方向コミュニケーションの進捗度合いを表す指標です。 モニタ人数/（現在給水人口/1,000）	0.0	0.0	0.0	↑

目標	分類	区分	番号	業務指標名	解説／業務指標の算式	令和4年度	令和5年度	令和6年度	指標値の望ましい方向
C 健全な事業経営	お客さまとのコミュニケーション	5 意見収集	C502	アンケート情報収集割合（人/1,000人）	給水人口に対する1年間に実施したアンケート調査に回答した人数の割合を示し、お客様のニーズの収集実行度を表す指標です。 アンケート回答人数/（現在給水人口/1,000）	6.59	4.20	3.99	↑
			C503	直接飲用率（%）	水道水を飲用としているお客様の割合を示すものであり、水道水の飲み水として評価を表す指標です。 （直接飲用回答数/アンケート回答数）×100	57.7	58.1	52.3	↑
			C504	水道サービスに対する苦情対応割合（件/1,000件）	給水件数に対する水道サービスに関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取組み状況を表す指標です。 水道サービス苦情対応件数/（給水件数/1,000）	0.50	0.74	0.45	↓
			C505	水質に対する苦情対応割合（件/1,000件）	給水件数に対する水道水の水質に関する苦情対応件数の割合を示すもので、水道サービス向上に対する取組み状況を表す指標です。 水質苦情対応件数/（給水件数/1,000）	0.46	0.72	0.43	↓
			C506	水道料金に対する苦情対応割合（件/1,000件）	給水件数に対する水道料金に関する苦情対応件数の割合を示すもので、お客様の水道料金への満足度を表す指標です。 水道料金苦情対応件数/（給水件数/1,000）	0.02	0.02	0.01	↓

※指標値の望ましい方向は、業務指標の値が高い方が望ましい場合を「↑」、低い方が望ましい場合を「↓」、いずれとも示せない場合を「－」で表示しています。